

アオマダラタマムシ

コウチュウ目タマムシ科

Nipponobuprestis amabilis (Snellen van Vollenhoven)

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

日本海側の分布北限に近い種で、個体数が少ない。また、本種の生息地域での開発が急速に進んでいる。

形態

体長は16~29mm。タマムシとしては大型で美麗種。体色は、緑の地に黄、橙、赤などの金属光沢の斑模様がある。上翅には明瞭な縦隆脈が認められ、2対の丸い陥凹紋がある。メスの腹端は丸く、オスは三角形にえぐられる。

国内分布

本州、四国、九州、対馬。

県内分布

加賀市から能美市にいたる平地~丘陵地。白山市以北にも、食樹のソヨゴが多く分布しているが、まだ、生息が確認されていない。

生態

成虫は6~8月頃に現れ、ソヨゴの葉を後食する。また、ソヨゴの衰弱部や新しい枯れ木に集まる。幼虫はソヨゴの枯死部や立枯木を食し、成虫になるまで2年以上を要する。晩夏に羽化した後、そのまま蛹室で越冬する。

生息地の条件

平地から丘陵地において、ソヨゴが自生する広い林の存在が重要である。

生存の危機

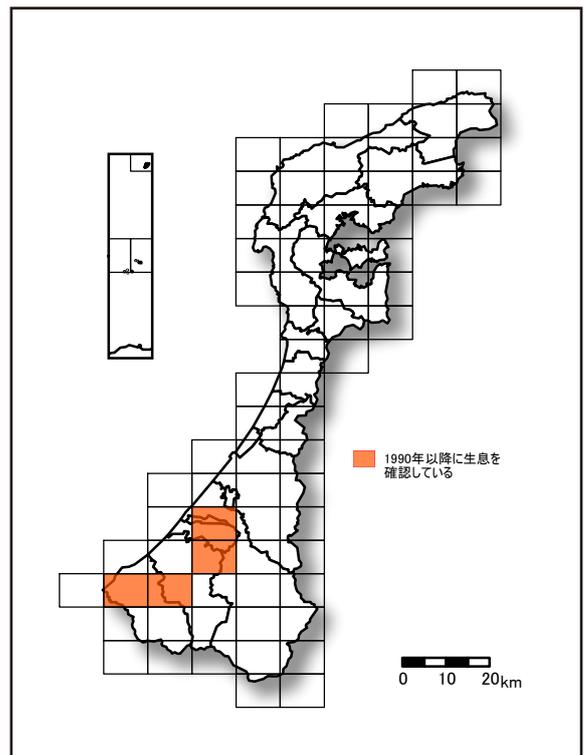
本種の生息地およびその周辺において、開発が急速に進んでいる。(A)

参考文献

高羽正治 1998. コウチュウ目タマムシ科. 石川県の昆虫 : 155-157. 石川県自然保護課.



写真提供者: 竹谷宏二



県内の分布